

まぶな



秋田市手をつなぐ育成会
会報 第29号

〒010-0922

秋田市旭北栄町1-5 秋田県社会福祉会館
秋田市手をつなぐ育成会 内

018-864-2718

全日本手をつなぐ育成会 連合会全国大会神奈川大会 に参加して



会長 田中 勉

7月2・3日に横浜市で開催された全国大会に参加してきました。全国大会に参加していつも感じることは、新たな知識や情報を得られる貴重な機会であるということ、エネルギーなお母さん達の話を聞いて大きな刺激を受けるということです。今回の分科会は、「成人後の人生を自立的に暮らす」制度を利用する際の意思決定支援のあり方」を選びました。その理由は、今年4月の「障害者差別解消法」の施行により障害者の権利がクローズアップされる一方で、本人の意思決定をどのようにして導き出すのかという課題の理解の為でした。

この会で、最も関心を持ったのは、琉球大学の准教授の鈴木良氏の「知的障害者のパーソナルアシスタンスの可能性」の講演でした。パーソナルアシスタンスとは、直訳すれば私的な援助

ということになりますが、外国では、障がいがある方に対し、役所が介助に要する費用を障がい者本人に直接支給し、障がい者が、その範囲内で自分の生活に合せて介助者と直接契約を結び、自らの意思で、自らマネジメントしていく制度のようです。例えば、金銭管理はAさんに頼んでその管理費用を支払い、食事の準備はBさんをお願いしてその費用を払い、その他の日常の生活の支援はCさんをお願いしてその費用を支払うというようにして支援を分割して自立した生活を自宅などで送れるようにする方法のようです。日本では、給付金は施設に直接支払われますが、カナダの例で話しておりましたが、個別化給付されており、このことが障がい者本人の市民権を実現しているし、行政側としても施設の建設に大きな費用を掛けないので最終的には安上がりだと話されておりました。その後、調査しましたら札幌市は、重度訪問介護の支給決定を受けている方を対象に平成22年度よりこのパーソナルアシスタンス制度を実施しており、今後の研究の課題になると考えます。

次に太分県手をつなぐ育成会の副会長の村上和子氏の「親」と「事業者」の二つの立場で知的障害福祉にかかわってきた事例の話がありました。

「まちで働く」とことと「地域の人々の障害理解」を目的に現在7か所の障がい者が働く喫茶レストランを運営しているそうですが、その中で驚いたのは、警察署と大学の中にも出店して地域の人々の障害理解を図っているとのことでした。又、障がい者の将来の暮らしを支える目的で宿泊体験ができる建物を用意して、親離れと子離れの練習をしている話などとても刺激になりました。特に印象に残った言葉は「必要なサービスがないことに気が付いたら、自らサービスを創り出す」という言葉でした。

今回の全国大会で、意思決定支援の必要性を再確認した訳ですが、意思決定支援とは、本人の意思決定に関わる全ての人たちが「ベストインタレスト」(本人にとっての最善の利益)の実現を求めることであり、障がい者支援に携わる人たちが全てが正しい意思決定支援をするためには、その支援の標準化が不可欠であります。しかし、障がい者の意思決定能力や人的環境、社会的環境の違いから意思決定支援の標準化は極めて難しい現実があります。まず、手始めに私たち家族が、意思決定支援とは何かということを学ぶ研修会を年明けにでも開催し、勉強していきたいと考えております。

▽市議会で医療に関して質問されましたが、その件について…

・重症心身障がいの人たちや、強度行動障害の人たちの受け皿になる医療機関を作ることが可能か…?

今現在、受け入れ先がなく、不安に思っている人も多い。市立秋田総合病院に改築計画があるので、重症心身障がいや、強度行動障がいの人たちのための病床を確保して欲しい。医師など関係者の参加を得て、協議会立ち上げを希望している。秋田市障害者総合支援協議会で議題にのせたい。県議会を通して県にも支援を要請、医師会にも協力をお願いしたい。育成会だけでなく、他の団体の参加を求めている…とのお話でした。(医療に関しては、もし病気になる場合、どこの病院で受診したらいいのだろう…と不安に思っている保護者も多いと思います。できるだけ早く見通しがつけば…と願っています。)

▽他、医療ケアの必要な人について…

・スクールバスに乗ることができず、保護者が学校まで送迎している…校外学習や修学旅行も親の付き添いが必要で不公平感もあり、精神的にも負担だ…という親御さんの訴えを受けて…

特別支援学校は県立学校なので、市

でできることは限定されるが、困っている人には何とか助け舟を出したい…ということでした。

▽選挙について

・今回の参議院選で、選挙権年齢も18歳に下がり、初めて投票した障がいを持つ人たちもたくさんいたようで、もっと簡単に投票できないものか…? 例えば、記名ではなく○を付けるようにすれば、知的障がいの人、認知症の人、もっと気楽に投票ができるのではないか…という意見も伝えました。

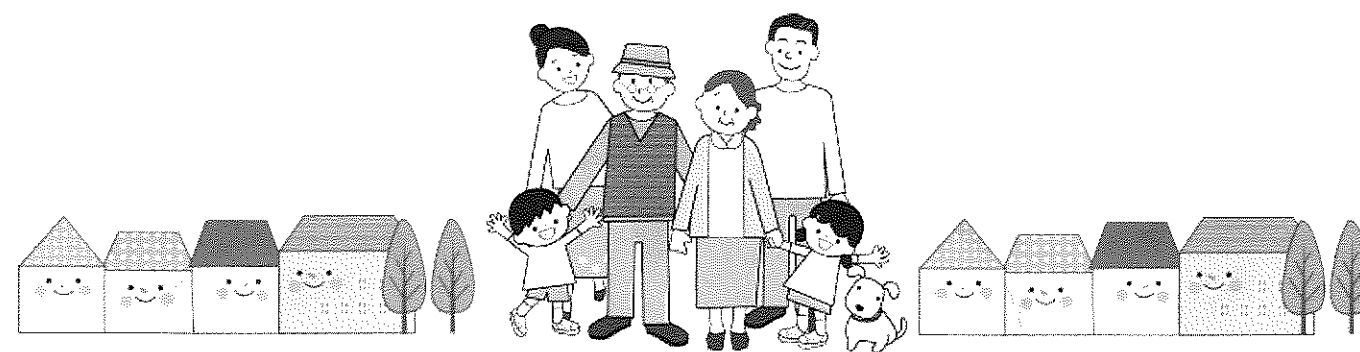
▽市役所福祉課職員の対応について…

・人によっては対応が悪く、知識不足…という意見もあり、異動によって配置されたばかりの人、いるかと思うが、もう少し勉強して欲しい…という感想でした。

最後に、田中会長よりいけばん大事なことや、相談事があったら、田中会長が同席して市の福祉課の職員の方と話をします。どんな事でも話してみて下さい。解決に向けて、できる限りの事はします!というお話でした。心強い味方を得たような思いです。(忙しい中お時間を作って下さりありがとうございます)

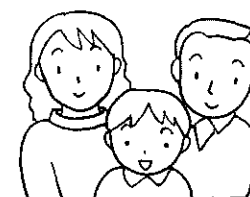
秋田市市議会議員として1年が過ぎた田中勉会長のインタビュー

(きずな編集委員による)



平成28年度 秋田市手をつなぐ育成会 組織図

会 長 田 中 勉 小又の里			
副 会 長	経 理 部	高 橋 精 一	一羊会
副 会 長	事務局兼事業部長	近 藤 美奈子	諸施設・在宅・その他
副 会 長	相談事業部	小 林 顕	諸施設・在宅・その他
副 会 長	広報部	豊 嶋 弘 子	諸施設・在宅・その他
支 部 長	河辺支部	田 口 忠 次	河辺支部
	事務局次長	小笠原 啓	諸施設・在宅・その他



監 事	柿 崎 文 夫	柳田新生寮
監 事	秋 山 牧	柳田新生寮

相 談 役	佐 藤 要 治	柳田新生寮
相 談 役	谷 内 和 夫	ウェルビューいずみ

相談事業部			
部 長	小 林 顕	諸施設・在宅・その他	
副 部 長	石 川 俊 弘	南秋つくし宛	
	佐 藤 裕 美	天王みどり学園	
	武 藤 雅 英	愛心園	
	藤 井 敦 子	小又の里	
	伊 東 春 香	秋大附属特別支援学校	
	野 口 尚 子	秋大附属特別支援学校	
	平 野 正 子	栗田支援学校	
	加 藤 京 子	栗田支援学校	

関係機関	秋田市障がい福祉課	
	秋田県手をつなぐ育成会	
	秋田市社会福祉協議会	

総 務 部			
部 長	柏 谷 敏 郎	ウェルビューいずみ	
副 部 長	能 美 ミ キ	柳田新生寮	
	中津川 正次郎	柳田新生寮	
	須 田 憲 二	柳田新生寮	
	石 垣 亘 子	竹生寮	
	安 宅 美智子	竹生寮	
	荒 川 栄 子	竹生寮	
	黒 川 伊 津	竹生寮	
	中 川 博 之	小又の里	

事 業 部			
部 長	近 藤 美奈子	諸施設・在宅・その他	
副 部 長	高 橋 洋 子	高清水園	
	藤 田 長 司	工房こすもす	
	長谷山 久 子	工房こすもす	
	田 口 忠 次	河辺支部	
	柏 原 伸 一	高清水園	
	菅 原 るり子	いなほ会	
	船 木 忍	いなほ会	
	大 川 慶 一	一羊会	
	高 橋 和 起	サンハウス	

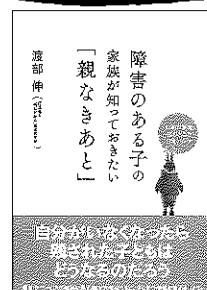
経 理 部			
部 長	高 橋 精 一	一羊会	
副 部 長	藤 原 悦 子	一羊会	
	石 川 千鶴子	明成園	
	山 城 多美子	明成園	
	能 登 茂	明成園	

広 報 部			
部 長	豊 嶋 弘 子	諸施設・在宅・その他	
副 部 長	玉 島 洋 子	緑光苑	
	中 田 和 子	諸施設・在宅・その他	
	長谷川 弘 子	諸施設・在宅・その他	
	佐々木 久美子	秋大附属特別支援学校	
	本 田 由 香	秋大附属特別支援学校	
	鈴 木 直 子	ウェルビューいずみ	
	高 橋 良 子	ウェルビューいずみ	
	植 村 政 司	つどいの家	
	戸 堀 智 織	栗田支援学校	
	渡 部 弥 生	栗田支援学校	

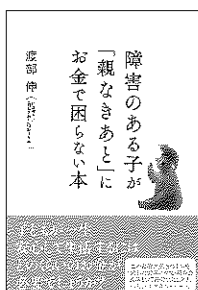
河 辺 支 部			
支 部 長	田 口 忠 次	河辺支部	

読んでみませんか?

気になる方は広報部までお知らせ下さい～



障害のある子どもを持つ親や家族にとって、自分たちがいなくなったあとの子どもの生活がどうなるかは、とても大きな心配ごとです。現在は健康な親でも、いつ何が起こるかわかりません。まずは現状を知って、できることから少しずつ「親なきあと」の準備をしておきましょう。



「親なきあと」に、障害のある子どもの生活がどうなるのか、収入と支出、お金の管理など、経済的な側面にスポットを当てて解説。第1部では、ひとり暮らしになった障害のある子どもに入ってくるお金と、必ず出ていくお金にはどんなものがあるか。また、どのようなサポート体制があるのかを紹介。第2部では、生活のために必要なお金が、確実に本人のために使われるようにするにはどんな管理方法があるのかを紹介。

(最新刊)



重度の自閉症者ながら文字盤やパソコンを使って言葉を発し続けてきた東田直樹。「自閉症」という障害への思い、会話ができないからこそ見えてくる日常の様々な気づき。著者の「七転び八起き」の歩みが詰まった一冊!

(最新刊)

2年前、NHKで特集されました。自閉症の筆者のこころの声…
『僕は、二十二歳の自閉症者です。人と会話することができません。僕の口から出る言葉は、奇声や雄叫び、意味のないひとりごとです。普段しているこだわり行動や跳びはねる姿からは、僕がこんな文章を書くとは、誰にも想像できないでしょう。』(本文より)

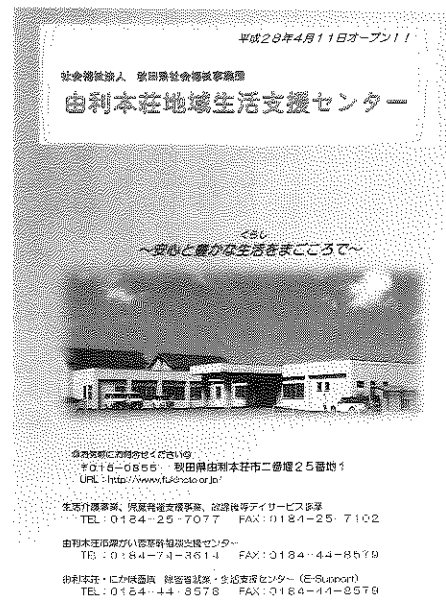
先進施設視察研修会

開催日…平成28年7月11日(月)

視察先…社会福祉事業団 水林事業所

由利本荘地域生活支援センター

参加者 23名



最初は水林事業所の見学です。

以前は水林通勤寮だった建物を利用し、グループホームと宿泊型訓練などのサービスを提供している。というお話で、特にグループホームは、よりケアが必要な利用者さんのため、夜は当直を置いている場所もあるようです。

日中活動は、B型と生活介護の両方を行き来している利用者もいる。という事で、盆灯籠やフルーツキャップやおみくじ作り、コロニー利用者の衣服に付けるネーム作りなど、頑張っている様子を見学させていただきました。



水林事業所



明るい室内で真面目に作業する利用者さん

西目のハーブワールドに移動しての昼食と園内散策では、参加者同士の雑談もまたいい勉強になっていたようで…有意義なひとときでした。

午後からは由利本荘地域生活支援センターの見学です。平成28年4月オープンしたばかりで、さすがに真新しく、きれいな施設でした。

グループホームが、明るく広く、住み心地の良さそうな個室だったのが印象的です。各部屋をつなぐウッドデッキもあり、夏場はバーベキューをやりたい…というお話でした。最新の設備が整ったグループホームでした。

放課後支援もして子供達の作品を展示しており、広く、設備も充実しているようでした。

同じ施設内で、利用者の年齢も幼児から高齢まで幅があり、自分が社会の一員として社会の中で生きている事を実感できていけるよ



とても新しい広々とした施設でした

参加者の声

◆水林事業所を見学して

・宿泊型自立訓練事業所で地域生活への移行のため洗濯や買い物物を教えてくれるという事だったので、良い事業だと思いました。また年配の利用者が多く事業所の歴史を感じました。

・宿泊型の訓練施設というのがうらやましい。

・宿泊型訓練というものがあつたのを知り勉強になった。作業内容は、とても高度だと思いました。

◆ハーブワールド秋田でのお食事と散策について

・参加された皆さんとお話しながらお弁当がたたくさんのお弁当おいしくいただきました。

・おいしかったです…が、もう少しハーブワールドっぽい食事だとよかった。

・食事はおいしかったです、ゆっくりする時間がもう少し欲しかったです。

◆由利本荘地域生活支援センターを見学して

・併設のユニット型グループホームがすばらしく、このような施設に入所できれば…と思いました。ひとつのセンター内でいろいろな要望に応えられるようになっていて、すばらしいと思う。隣接しているグループホーム…秋田市にも是非欲しいです。

・放課後、児童の支援もしてて素晴らしいと思いました。グループホームも新しく個室で住みやすいのでは…と思いました。

・この春開所したばかりの多機能型施設でした。児童発達支援・放課後デイサービスが一緒ということで、乳幼児…高3まで、長い目で利用・相談できる所だと思いい、親としては安心かなあ…と思いました。また水林事業所・コロニーとの連携には相談事業所の方で役割を充分はたして行っているように思いました。

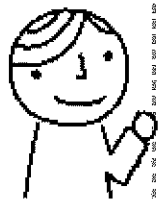
◆秋田市の福祉環境に望むこと

・入所の施設を増やせないのなら、グループホームを増やして欲しい。

・秋田市にも宿泊型の訓練施設というのがあればいいですね…当直スタッフのいるグループホームがもっとたくさんできれば、自立という夢が叶う人たちもたくさんいると思う。

・親の元気なうちに、子どもの利用できる所(一生の場所)が欲しい。

アンケート協力ありがとうございました



いどばた IDOBATAカフェ



6月20日(月)

中央市民サービスセンター「センタース」(秋田市役所3F)で行いました。

参加者は約20名、それぞれに、今思っていること、感じていること、悩んでいることを語りました。参議院選挙が間近だったこともあり、18歳での初めての投票に不安を感じている母たちから、先輩母へたくさんの質問も出て、

◇文字が書けない場合はどうすれば…? ◇投票用紙の意味がわかるかなあ

◇投票所内で、書き方指導や、会話はできる? などなど…

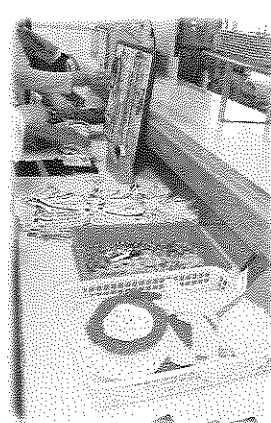
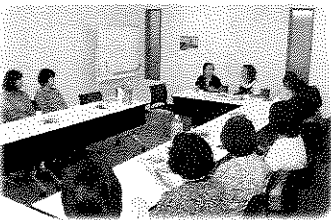
立会人の方に何でもお願いできるし、期日前投票の方が、緊張しないのでできるよ…

本人の権利なのだから、棄権せずには是非投票させてあげて…

などたくさんの心強いアドバイスも聞かれました

次回は10月に予定しています～ 参加してみませんか?

連絡先: 藤井 (090-1371-7384) まで



水林事業所では、利用者さんの作業製品である、アクリルたわし・裂き織りのコースター・ミサンガなどの手芸品も展示販売しております

うに感じました。職員の方々は、強度行動障害の人たちにも対応できるように研修している…というお話で、就労を目指す人には就労支援、60歳を過ぎた人たちには入浴サービスを、車いすの利用者には特殊浴槽で入浴…など、その人に合った個別の支援ができるように…、そしてセンターを利用したいという希望が多くなるようにしたい…というお話が印象的でした。

相模原障害者施設殺傷事件

平成28年7月26日午前2時頃、相模原の障害者施設津久井やまゆり園において、元職員、植松聖が侵入し、施設の利用者が刺され、男女19人が死亡、男女26人が負傷した事件で、戦後最悪の殺傷事件である。犯人は、以前勤務中に施設において、重度障害者に対して差別的な発言もあり、辞職していた。事件前には、衆議院議長公邸を訪れ、犯行予告ともとれる手紙を2月14日、職員に手渡し、施設名や、具体的な手口も記されていたため、警察に連絡、津久井警察署は、他人を傷つけるおそれがあるとして、相模原市に通報、同市は、2月19日緊急措置入院を決定した。3月2日、他人に危害を加えるおそれがない、として退院、その後、7月26日、事件を起こした。

様々なシグナルが犯人から出されており、本当に防ぐ事が出来なかったのか？残念でならない。施設も防犯カメラを増やし、警備も強化しようだが、もう少し犯人に目配りしていれば…と思えてならない。障害を持つ人を取り巻く環境も、以前に比べて、ずっと改善されており、社会の理解も進んできて、障害を持つ人達が社会に参加出来る機会も、これからもっともっと増えてくると思う。社会全体で共生という事を考え実践していく必要性を本当に強く感じている。

それにしても、現代日本でこんな優生思想がまだ生きていたとは！障害を持つ子供の親としては、大変な衝撃を受けました。再発を防ぐ事!!をみんな考えていかなければならないと、強く感じています。犠牲になられた方々のご冥福をお祈りして、合掌。やすらかに、やすらかに眠り下さい。

津久井やまゆり園の事件について (障害のあるみなさんへ)

7月26日に、神奈川県にある「津久井やまゆり園」という施設で、障害のある人たちが殺される事件が起きました。容疑者として逮捕されたのは、施設で働いていた男性でした。亡くなった方々のご冥福をお祈りするとともに、そのご家族にはお悔やみ申し上げます。また、けがをされた方々が一日でも早く回復されることを願っています。容疑者は、自分で助けを呼べない人達を次々におそい、傷つけ、命をうばいました。

とても残酷で、決して許せません。亡くなった人たちのことを思うと、とても悲しく、悔しい思いです。容疑者は「障害者はいなくなればいい」と話していたそうです。みなさんの中には、そのことで不安を感じる人もたくさんいると思います。そんなときは、身近な人に不安な気持ちを話しましょう。みなさんの家族や友達、仕事の仲間、支援者は、きっと話を聞いてくれます。そして、いつもと同じように毎日を過ごしましょう。

不安だからといって、生活のしかたを変える必要はありません。障害のある人もない人も、私たちは一人ひとりが大切な存在です。障害があるからといって誰かに傷つけられたりすることは、あってはなりません。もし誰かが「障害者はいなくなればいい」なんて言っても、私たち家族は全力でみなさんのことを守ります。ですから、安心して、堂々と生きてください。

平成28年 7月27日

全国手をつなぐ育成会連合会
会長 久保 厚子

「私たちが守る」 障害者親の会呼び掛け

相模原の障害者施設殺傷事件を受け、知的障害がある人の親でつくる「全国手をつなぐ育成会連合会」は27日、ショックを受けている障害者向けに「もし誰かが『障害者はいなくなればいい』なんて言っても、私たちは全力でみなさんを守る。安心して堂々と生きて」とするメッセージをホームページに公表した。

連合会の久保厚子会長(64)によると、事件後、知的障害者や家族の不安が高まっている。容疑者が元施設職員ということもあり「自分が使う施設の職員を信用しても大丈夫か」「家族が入る施設の安全対策は十分か」といった相談が寄せられている。このため26日に被害者の冥福を祈る声明文を発表したのに加え、27日に障害者へのメッセージを公表した。

知的障害者の入所施設などでつくる日本知的障害者福祉協会も「利用者の不安が増幅されないよう適切な対応に努めてほしい」と各地の施設に要請した。

(秋田魁新報より)

生きる権利、なぜ奪う…

考えられない事件である。人の心を持つていれば数十名もの人を殺傷するなんて事は出来るはずもなく…どんな育ちをした犯人なのか？自分から見て劣っているとされる人達を十名抹殺すれば、また劣っていると思われる人たちが十名出てきて…とキリがないことをわかってるのか？何を基準に優劣をつけているのか？

事件の全容、犯人の人間性を明らかにして欲しい！

事件の一報を聞いた時は、状況がよくわかりませんでした。が、だんだんと報道がされていくうちに悲しみと怒りがこみ上げてきました。障がい者であっても安心して生きていけるような世の中であって欲しいと願っています。

重度の知的障害の息子を持つ親として、非常に不愉快な事件であり、他人事とは思えないです。命は一人一人大事です。軽んじられる命はありません。ご冥福を心よりお祈りいたします。

「みんな違ってみんないい」
人それぞれ個性は違っても、互いを思いやる心を忘れないで…

今回の容疑者は、パングレディッシュのテロ事件同様、大学を卒業した教養のある若者。偏った思想での身勝手な犯行による犠牲をこれ以上出さないような教育改革が必要だと考えます。

最初テレビから聞こえてきたニュースでは、まさか日本で起きたことだとは思えませんでした。犯人の狂気は疑うべくもありませんが、事件の背景に何があるのか、再発を防ぐために何が必要かを、関係者のみならず、社会全体で考えていかねばならないと思います。

生存者の母の「私は宝を産んだと思っている」の言葉に涙が出ました。母はみなそう思っているし大切に育ててきた命だと思います。きつと犯人の母だって…

こんな悲しい事件が二度と起きないように…

芸術家さんたちの コーナー

陶芸

戸堀 智織さん
(栗田支援学校・嵩君・母)

佐藤 裕美さん
(みどり学園・優輝君・小又の里・雅幸君・母)

4年前からみどり学園のお母さん達の集まりで始めました。月1度の教室日は、卒業後の交流の場にもなっています。毎回、自分で作りたいものを作っていて、それぞれ皿や茶碗、花瓶、ぐい呑み等、色々な物を作ってきました。陶芸は難しく、なかなか思い通りの作品が出来上がりません。ろくろを使ってイメージ通りの作品が作れるようになります。素敵な大皿がいくつかできますように…毎回やさしい先生をあてにして手より口の方がよく動く楽しい教室です。

大谷 美咲さん
(ドリームカンパニーあゆみ)

この似顔絵は穂積市長を描いたものです。とても特徴をとらえていますよね。「第1回あきたアート」のイベントに似顔絵を出品した際に、ブースに市長さんがいらっしゃりご本人を目の前に、描いたものです。その観察力に脱帽です。(←これはその時の様子です。美咲さんの真剣な顔とモデルとして緊張しているような市長さんが微笑ましいです…)そしてとても器用な美咲さんは、バルーンアートもとても上手です。以前イベントで見かけてから、自分でも作るようになりました。今ではレパートリーもたくさん増えたそうです。こうした活動で、いろいろな人に出会えて、楽しく過ごせて…そんな美咲さんを見られることが幸せ…とお母様は語っていました。

身近な芸術家さん募集中～

このコーナーで紹介して欲しい作品等ありましたらお知らせください

学校部会より

今回は各校の学園祭の様子とお知らせです！

◇天王みどり学園◇

今年10月22日(土)午前9時から学園隣の教育センター講堂にて小中高等部のステージ発表が行われます。児童一人一人が主役となって活躍、笑顔と感動いっぱいのステージを見学いらして下さい。午後からはPTAの喫茶店や昼食販売、中高生の作業製品の販売や、美術の作品展示、また、秋田西高生有志と学園の生徒と一緒に作ったダンス発表会&ダンス大会など、盛りだくさんのプログラムです。皆様、知り合いを誘い合ってみどり学園へいらして下さい。



昨年度の高等部のステージ発表～「西遊記」

◇秋田大学教育文化学部附属支援学校◇

我が校の学校・PTA行事は在校生が楽しめることはもちろん、その多くが卒業生も参加・来場できます。その中の一つ、「わかほと祭」が今年11月23日(水・祝)に行われます。メインの在校生のステージ発表は、先生たちの綿密なキャストイン



昨年度の高等部のステージ発表～「学校を救え！～8人と仲間がつなぐ物語」

グと脚本で、保護者や卒業生、地域の人たちを楽しませてくれます。その後「喫茶ぽっぽ」で飲食しながら会話を楽しんだり、作業販売やバザーで一気に入りを見つけたら！ぜひお越しください！

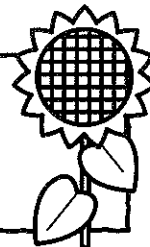
◇栗田支援学校◇(校名が変わりました)今年創立30周年を迎える栗田支援学校では、記念行事の一つとして「栗田の秋祭り」を10月8日(土)に行います。

小学部の相模大会、馬・ポニーの乗馬体験、新屋高校吹奏楽部によるコンサート、作業製品販売、PTAバザー、くじ、ババヘア等の出店など、盛りだくさんの内容になっています。

児童生徒が、地域の皆様をおもてなしする秋祭り！ぜひ足を運んでみてはいかがでしょう！皆様のお越しを心よりお待ちしております！



お知らせ



第3回 全日本手をつなぐ育成会 全国大会

7月(土)～3(日)
神奈川県横浜市
田中会長が出席いたしました

第56回 東北ブロック大会

9月24日(土)～25日(日)
宮城県仙台市
小林副会長が話題提供者としてお話されるそうです

第58回 手をつなぐ育成会 秋田県大会(由利本荘大会)

8月28日(日)
たくさんの参加者と共に開催されました



りんご狩りのお知らせ

11月上旬予定
遠足気分ぜひご参加下さい

平成29年 新年親睦会(成人式)

新成人の方の情報ありましたら、
どうかお知らせ下さい。
皆でお祝いしながら親睦を深めましょう



秋田県障がい者スポーツ大会

平成28年 9月

秋田県障がい者福祉展

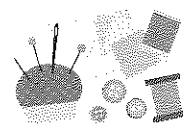
秋田県・県障がい者社会参加推進センター主催
「心いきいき芸術・文化祭」
平成28年11月10日(木)～11日(金)
秋田拠点センターアルヴェにて
(例年12月開催でしたが、日程が少し早まります)

第2回 秋田市知的障がい者サポーター養成講座

10月22日(土)
老人福祉センター 3階会議室
講師：澤石由記夫(県医療療育センター、副
センター長・小児科医)
佐々木宏幸(ウェルビューいずみ・施
設長)
後藤 進(オリブ園・園長)

バザーのお知らせ

11月10日(木)～11日(金)
秋田拠点センターアルヴェにて
上記県障がい者福祉大会の中で行います
例年たくさんの売り上げがあり、売上金は育成会会計
へ入金頂いておりますー感謝申し上げますー♥
*手作り品やご自宅に眠っている品物があり
ましたら寄贈お願いします
連絡先(近藤) 090-8785-8436



編 集 後 記

今年もとても暑い夏となっています。皆様いかがおすごしでしょうか？

6月には、田中会長の市議会での一般質問があり、新しい市役所の議場見学も兼ねて拝聴してきました。

田中氏の登壇直後、音声トラブルが発生！素敵なおルゴールが鳴り響き、一瞬和やかに…これまためったにない出来事で…ネットニュースにまで～田中氏、何か持っています!!

秋田市のさまざまな問題点を提起し、人口減少問題や、高齢者福祉と医療、さらには障害者福祉と医療問題も、実例や実際の数字をあげて質問して下さいました。私たちの生活の中で、よどんでいた思いを伝えて下さり、なんとなく風穴が通った気持ちになりました～これからも期待しています。

また、この広報誌『きずな』ですが、好評を得ておりまして年2回の発行に加え『かわら版』を不定期で発行できれば…とっております。乞うご期待～

(広報部)

